

都市整備



村上 信行 議員

**新幹線工事で
住民生活を守れ**

柴田地区新幹線対策協議会への工事説明会に同席し、そのお粗末さには驚いた。事前に市長宛てに提出されていた要望書に対し、1カ月近くも回答がないとのこと、排水路の設計ミスも直ちに直すとの説明もない。周辺住民の生活安全を鉄道・運輸機構と一緒に守るべきである。また、木場トンネル工事に伴い、一日5,000トンの湧水が発生し、内田川に放流されている。この地下水を活用して木場・三城地区の地下水の枯渇対策を行うべきである。

答 説明会の中で、説明不足の点があったことについては、心からお詫び申し上げる。不足している内容については、改めて説明をする。また、地下水の枯渇対策については、現在トンネル工事施工中であるため、今後、鉄道・運輸機構と協議をしながら工事が全て完了した段階で、最も効果的な対策を講じていきたい。

都市整備



伊川 京子 議員

延々と続く総合運動公園事業

黒丸町の総合運動公園は、当初計画では、総面積22.1ha、総事業費100億円、平成13年から平成40年まで3期に分けての整備としていたが、事業が遅れ、事業期間の延伸がなされている。第1期工事9.6haはもとより全体の完成時期は全く見通せない。第1期工事の完成はいつになるのか。また、第2・3期の工事については内容の見直しも必要になってくると思うが、市の見解を問う。

答 第1期工事の完成時期については、明確には回答できないが、事業期間である平成33年度内の完了を目指したい。第2・3期工事については、運動公園として国の交付金を受ける基準である15ha以上は整備が必要であり、また、運動公園として22.1haを都市計画で定めているため、当初の計画どおり第3期まで整備することとしているが、今後の社会情勢や経済状況に応じ、市民や関係機関の意見を踏まえ、慎重に検討していく。

行財政・一般



伊川 京子 議員

**モーターボート競走事業
収益基金活用について**

ボートの収益による基金から新幹線新大村駅（仮称）周辺整備事業に約7億円を充てる予算が計上されているが、新駅前周辺は民間に売却する計画であり、基金から出すのはおかしい。民間に売却して得たお金は基金に戻すのか。貴重な財源であるボートからの繰り入れは、教育文化施設など形の残るものに使ってほしいという要望があり、基金が設置された。市の見解を問う。

答 基金の用途については、ハード整備事業に要する財源に限定しており、条例上の定めはないが、できる限り福祉や子ども関連事業を優先することとしている。それ以外の公共施設についても、その時々々の財政状況などに応じて活用する。新幹線新大村駅（仮称）の周辺整備事業は現在計画を進めているが、全てを民間へ売却するのではなく、公共施設や道路、公園等の整備も含まれる。民間への売却で収支がプラスとなった場合は同基金以外の財政調整等4基金への積み立てを検討したい。

行財政・一般



山口 弘宣 議員

**市庁舎の外観は、
シンプルズベストを買い**

市庁舎は、行政事務をつかさどるべきところであって、外観上の奇抜な造りや大村市のシンボリックな造りに重点を置くべきではないと思う。あくまでも、市民の利便性・機能性・安全性に重点を置くべきである。外観は、周りの景観を著しく損ねない程度のシンプルなデザインにするべきであると思うが、市の見解を尋ねる。

答 新庁舎建設基本設計業務委託のプロポーザル審査委員会は、受託者からの提案内容に対し、建設コストやランニングコストが高くなることが懸念されるため、設計段階での十分な検討が必要であるとの意見を付している。市としては、提案された庁舎のレイアウト等をそのまま受け入れるのではなく、基本計画に掲げる「経済性を考慮した庁舎」などの基本方針を踏まえ、受託者と協議を重ねながら、基本設計を策定していきたい。





行財政・一般



古閑森 秀幸 議員

選挙公報の配布について

選挙公報については、現在、町内会長の協力を得て配布しているが、町内会によっては世帯数も多く、町内会未加入世帯も含む全世帯への配布は大変な時間と労力を要し、負担が大きい。配布方法について見直しをする必要があると思われるが、他の配布方法についての検討状況を探る。

答

選挙公報については、これまで町内会長や行政委員の方々に配布をお願いしていたが、今後は新聞折り込みで配布する。なお、新聞を購読されていない方への補完措置として、各地区の出張所や市の主要施設に選挙公報を設置したり、インターネットで閲覧できるようにする。また、この補完措置については、市のホームページやSNSに掲載し、周知したいと考えている。



行財政・一般



小林 史政 議員

V・ファーレン長崎と新工業団地について

今回の新工業団地へのV・ファーレン長崎の練習場誘致は、大村市がスポーツを生かした街としての新しいイメージをつくり、将来の発展に大きく貢献できる唯一のチャンスではないかと考える。新工業団地における経済波及効果の見込みを上回る効果が長崎にもたらされると判断されたら、市民の理解を得た上でぜひとも誘致すべきと考えるが、どうか。

答

ジャパネット側の提案が、工業団地整備の本来の目的である雇用確保や定住促進などにどれだけつながっていくか慎重に検討する必要がある。また、提案にはスポーツを生かした地域活性化が掲げられており、この実現性や影響額、目に見えない効果がどれほどあるのか大きく期待している。しかし、ここは工業団地として県と共に整備を進めてきているため、県との慎重な協議が必要である。



行財政・一般



城 幸太郎 議員

ローマ法王フランシスコの来崎について

本年11月にローマ法王フランシスコの来崎が確実になった。一昨年バチカンに出向き、法王に直接「天正4少年のまちから来ました。ぜひ長崎にお越しください。」と申し上げたのは園田市長である。大村を素通りされるのは大変残念なので「郡崩れ」の「放虎原殉教地」に立ち寄り、殉教者にお祈りを捧げていただけるよう全力で取り組んでほしい。

答

天正遣欧少年使節のまちである本市は、布教の始まりの地であり、郡崩れの放虎原殉教地は、殉教・潜伏の始まりの地であるということからも、来崎の最初と最後をぜひ大村市にお立ち寄りいただきたいという強い意思を持っている。一昨年のバチカン訪問の際にお力添えいただいた中村バチカン大使をはじめ、長崎大司教等々と連携をとりながら、しっかりと11月まで頑張っていきたい。



行財政・一般



永尾 高宣 議員

開かれた新庁舎を目指して!!

基本設計業者が決まり、庁舎建設に向け着々と進んでいるようであるが、建設場所はボート第5駐車場で変わりはないか。また、国の財政支援制度の内容が一部変更されたことにより、市が受けることができる交付税措置額は基本計画で示している約4.6億円からいくらに変わるのか。また、各出張所の「機能強化」を進め、安全で市民に親しまれ、利用しやすいサービス向上につながる庁舎を目指していただきたい。

答

建設場所については、ボート第5駐車場で建設を進めていく。また、交付税措置額は基本計画策定時の約4.6億円から7億円増の約11.6億円を見込んでいる。市民サービスについては、現在、ICTを活用した行政サービス機能の充実など、ICT活用支援業務を進めており、マイナンバーカードを活用した電子申請などにより、市民が来庁することなく用件を済ませることができる方法を基本設計に併せて検討する。

注3…明暦3年(1657年)、大村藩内の潜伏キリシタンが発覚した事件。603人が捕まり、406人が処刑された。
注4…郡崩れによる逮捕者のうち131人の処刑場所。



行財政・一般



山北 正久 議員

新市庁舎の建設場所に
反対!住民投票で

新市庁舎の建設場所の選定の在り方に大きな問題がある。現在、市が予定している建設場所はボート場の隣であり、開催日はもとより平日でも市内で最も慢性的な交通渋滞地域である。多くの市民が高速インターから長崎空港路線地域の西大村地区への建設場所の変更を求めている。市民に選択権を与え、「住民投票」で決定するべきだ。

答 新庁舎の建設については、一昨年の4月に市民との意見交換会、昨年の5月に基本計画案の市民説明会を行った。その後、市民の代表である議会の議決をもって、ボート第5駐車場を建設計画地とする基本計画関連予算が可決された。現在、基本設計に着手しているため、住民投票をする考えはない。



行財政・一般



城 幸太郎 議員

V・ファーレン長崎の
練習場協議について

練習場拠点の候補地を新工業団地に絞り協議を継続し、3月上旬に一定の方向性を示すと新聞に掲載されたが、V・ファーレン長崎、ホームタウン大村の両者にとって黒丸の総合運動公園での建設が有益的、効率的だと考える。また、新工業団地は4月の分譲開始を待ちわびている企業が優先交渉権を持っていることを考えても、3月上旬に方向性を出してはいけないと考えるが、市の見解を尋ねる。

答 ジャパネットホールディングスや県との協議を行い、最終判断に至ることとなる。議会からは、企業誘致のための新工業団地整備であるから練習場を誘致するのは違うのではないかという声や、一方では、練習場誘致は千載一遇のチャンスだという声もある。何とか両方できないのか知恵を絞り、慎重かつ丁寧に、スピードを持って、しっかりと協議を重ねていきたい。

行財政・一般



村崎 浩史 議員

V・ファーレン長崎の練習場は
新工業団地以外で

V・ファーレン長崎の練習場が大村市に整備されることは大歓迎であるが、新工業団地が候補地になっているのはおかしい。新工業団地を候補地として協議に至った経過について説明を求める。また、最終的な結論はいつまでに出すのか。新工業団地以外の場所を候補地とし、じっくり時間をかけて交渉をするべきではないか。

答 昨年12月のV・ファーレン長崎の新練習拠点公募への関心表明後、黒丸町の総合運動公園を候補地として提示し協議を進めてきたが、2月24日の会談の結果、候補地から総合運動公園を除外し、新工業団地に絞り協議を継続することとなった。最終的な結論を出す時期については、3月上旬、中旬としていたが、県とも協議を行う必要があるため、現時点では3月中には回答を出せないと考えている。

行財政・一般



廣瀬 政和 議員

新市庁舎に
地元大村産木材の活用を

林業は、災害防止の国土保全や水資源の涵養、自然環境の保持など多面的な機能を持つ、大変重要な産業である。平成19年に「ながさき森林環境税」が創設されたが、当市における活用状況と実績はどのようになっているか。また、長崎南部森林組合から、地元大村で生産された木材の公共施設等への活用についての要望が出されているが、新市庁舎への活用について尋ねる。

答 ながさき森林環境税を活用した事業は、小学生を対象とした森林学習や林業体験、NPO法人による里山塾の実施、私立保育園への木製机・椅子の導入のほか、長崎南部森林組合が実施した未利用材搬出支援事業などがある。新庁舎への木材の活用については、新庁舎建設基本計画において内装材等に地元産木材を活用することを明記しており、基本設計業務の受託者からも地元産木材を活用した提案を受けているため、基本設計の中でしっかり検討する。



行財政・一般

人口減少対策について



朝長 英美 議員

現在、県や各市町村でも、人口減少対策に力を入れている。本市におけるU・ターンの実績と、実際に本市へ転入したところ、勤め先がない、交通が不便であるなどの理由で転出した世帯数は何件か。また、人口減少対策には子育てしやすい環境づくりが必要と考える。森園公園や総合運動公園に児童公園にあるような遊具を設置してはどうか。

答 県または市の移住相談窓口を通してのU・ターンの件数は、平成28年度6件、平成29年度7件、平成30年度1月末現在で13件であり、転入後の転出状況については、把握していない。また、森園公園への遊具の設置については、現在、再整備計画が凍結状態であるため、財政状況等により実現が可能となった際に検討したい。総合運動公園については、テニスコートやソフトボール場の整備後、遊具のある「冒険広場」を整備する計画である。

行財政・一般

庁舎建設の計画決定は選挙後



村上 信行 議員

市長は、昨年7月に新庁舎建設基本計画を発表したが、まだ市民には理解されていない。実施設計の予算はいつ議会へ提案するのか。また、国の財政支援制度、市町村役場機能緊急保全事業に経過措置が設けられ、平成32年度中に実施設計に着手すると、33年度以降も引き続き国の支援を受けられることができるという内容であったが、今後のスケジュールに変更はないのか。

答 今後のスケジュールとしては、本年6月に基本設計の素案についての市民との意見交換会を開催し、そこでの意見を踏まえ、9月までに基本設計の策定を完了させたい。その後、本年11月か12月に実施設計の予算を議会へ上程する考えである。国の財政支援制度に経過措置が設けられたが、来庁する市民や職員の人命を守り、防災拠点としての機能を早期に実現することが重要であるため、現時点では基本計画で示しているとおり32年度中に工事に着工したいと考えている。

～ 本会議・委員会の傍聴にお越しく下さい～

3月定例会の本会議には、147名の市民の皆様へ傍聴していただき、大変感謝申し上げます。

今後も、市政発展のために全力で取り組んでまいりますので、よろしくお祈りいたします。

本会議・委員会はどなたでも傍聴することができます。市民の皆様から選ばれた市議会議員の活動や市政の方針などを直接確かめることができる最も身近な方法です。

事前の申し込みは必要ありませんので、お気軽にお越しください。

令和元年6月定例会の予定

6月	13日(木) 10時 本会議(議案審議)	7月	2日(火) 10時 本会議(議案審議)
	17日(月)～21日(金) 10時 本会議(市政一般質問)		※定例会の予定(日時等)は変更となる場合があります。
	24日(月)・25日(火) 10時 委員会(議案審査)	※6月7日(金)の議会運営委員会で決定します。	
	26日(水) 13時 委員会(議案審査)		

行財政・一般

目に余る! 市庁舎建設検討委員会の手抜き仕事



神近 寛 議員

検討委員会設置要綱には「基本構想案の策定」が明記されているが、市はその仕事をすっぽかした。あり得ない話である。構想の中に位置づけるべき場所の選定においては、市内部の都合により選定項目が二転三転した揚げ句にポート第5駐車場となったが、選定項目の安全性・利便性・まちづくり・早期性・経済性のうち他候補地に勝る項目があるのか。

答 本市では、できるだけ早期の新庁舎完成を目指し、基本構想を盛り込んだ形で基本計画を策定した。建設場所の選定については、安全性、利便性、経済性、早期実現性の観点から市内6カ所に絞り込んだ。さらに熊本地震もあり、来庁される市民、職員の人命を守ることを第一に、新たな用地取得等が不要で、国からの財政支援を最大限に活用できる現地周辺のポート第5駐車場を選定した。

注5：Uターン：地方で生まれ育った人が、都市部に移住した後、再び自分の出身地に戻る。ターンの：出身地とは別の地方、特に都市部から田舎に移り住むこと。

